

2020. 10. 1

歴史民俗資料館だより No.136

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

特別企画

～秋の美術工芸展～

会期 10月15日(木)～12月6日(日)

展示品 当館蔵品の中から特に貴重な資料
の屏風・襖・掛軸・衣装など 10点

当館は、昭和53年(1978年)の開館以来、多くの市民の皆様方から沢山の貴重な資料のご寄贈をいただいております。

このたび館蔵品の中から、木下逸雲筆 秋草図をはじめ、池島邨泉蘆雁図屏風や市民から寄贈された着物・帯の資料を中心に、特別企画展として、「秋の美術工芸展」を開催致します。

芸術・文化の秋にふさわしい長崎の貴重な資料をご覧いただければ幸いです。

企画展の開催に当たり、貴重な資料をご寄贈頂きました本田邦子様をはじめ、多くの市民の皆様と関係者各位に深くお礼申し上げます。



いけしまそんせんあしかりずびょうぶ
池島邨泉蘆雁図屏風 明治中期

池島正造(邨泉)は弘化元年(1844)生まれ、万延元年(1860)17歳の時に木下逸雲から「尊泉堂」の書を貰い、絵の手ほどきを受けました。慶応2年(1866)23歳の時に麴屋町で家業を継ぎ、明治5年(1872)29歳の時、明治天皇の来崎に際して珍宝を天覧し、同24年48歳の時、ロシアのニコライ皇太子が来崎して骨董品を購入されています。同35年(1902)59歳の時に新県庁舎落成記念展覧会に得意の「蘆雁」の図を出品しました。

同37年に自分の肖像画に西道仙による讃文が記されています。同40年(1907)64歳で没しました。



きのしたいつうん
木下逸雲筆 秋草図襖



弘化元(1844)年

山口貞一郎氏寄贈

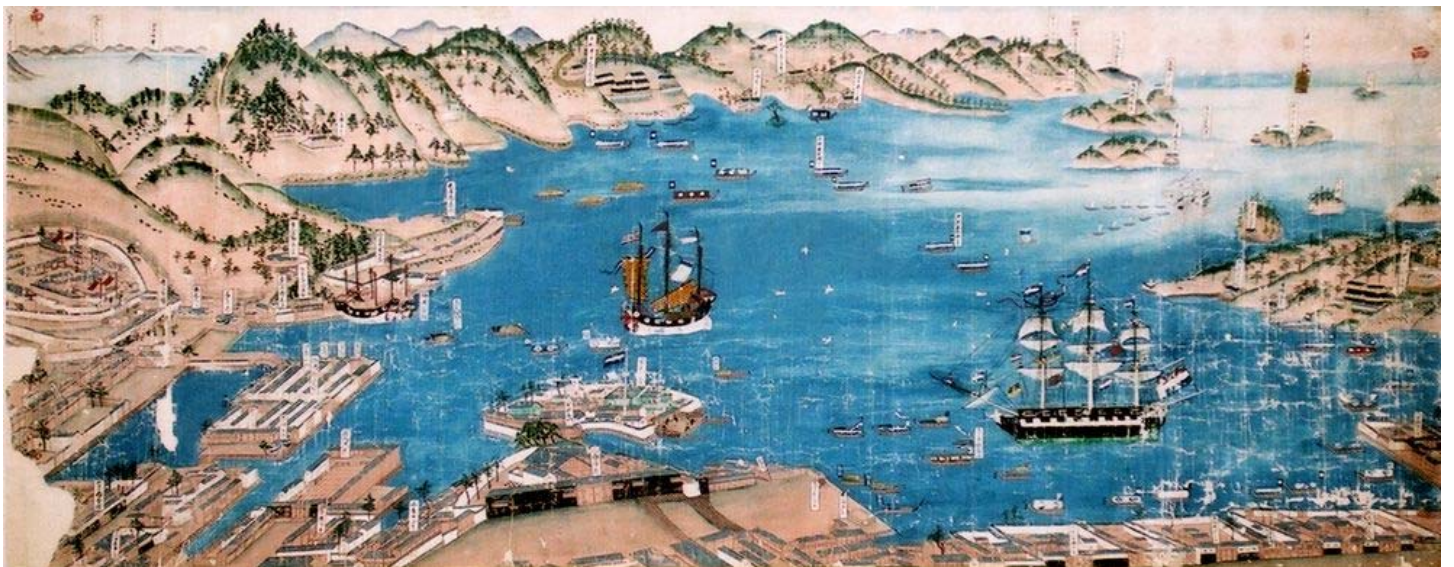


着物

昭和時代
本田邦子氏寄贈



帯 昭和時代
本田邦子氏寄贈



伝城義隣 泥絵長崎港図

嘉永6（1853）年頃
森田 武利氏寄贈